

記入例（JAひすいエコライス栽培に該当する方）

様式第1号別紙2(参考様式第2号)

化学肥料低減計画書

作付概要	
作物名	作付面積(ha)
水稻	1.2
その他	0.2
計	1.4

化学肥料低減計画書提出先

JAひすい

注: 提出する農業者グループ(肥料販売業者等)を記載すること

秋用肥料	春用肥料
○	

注: 該当するものに○を付けること

- ・作物名（水稻）とコシヒカリエコライス栽培の作付面積を記入してください。
- ・もち米や畑作等、低減に取組まない作物は、その他に面積を記入してください。

氏名(法人・組織名) ひすい 太郎
 住所 糸魚川市大町1-3-4
 電話番号 025-000-0000

○、ア～ソのうち、令和4年度において、作付面積の半分以上に当たる作物又はこれに準ずる作物群のうち2品目以上で、有機農産物や特別栽培農産物の第三者認証等を受けている、環境保全型農業直接支払の交付を受けているなどの化学肥料の2割低減を大幅に超える対応が行われている場合は、それを証明する書類を添付してください。(○や◎のチェックは不要です)

取組メニュー	前年度までの取組	令和4年度又は令和5年度の取組
ア 土壌診断による施肥設計		
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用		
オ 汚泥肥料の利用(下水污泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等)の利用		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く。)		
ソ 地域特認技術の利用()		

- ・コシヒカリエコライス栽培に取組んでいる生産者は、すでに化学肥料低減に取組んでいますので、取組メニューに「○」の記入は不要です。
- ・すでにご提出いただいている各生産者のコシヒカリ「栽培記録シート」を化学肥料低減の証明書類として、申請の際に添付させていただきます。

私は、添付した領収書(請求書)等記載の肥料(肥料費)について以下のとおり、確約します。

令和4年秋肥又は令和5年春肥として確実に購入し、自らの農業生産に使用します。
 ※チェック欄にチェックした上で署名してください。

氏名(自署) ひすい 太郎

添付書類確認 発注したことを証明する書類 (注文票等) 肥料費を支払ったことを証明する書類 (領収書等) 化学肥料の2割削減を大幅に超える取組を証明する書類 (有機農産物、特別栽培農産物、環直交付金等の認証書類)

(注) 当年の肥料費は、秋用肥料については令和4年6月～10月、春用肥料については令和4年11月～令和5年5月に発注したことを証明する書類(注文票等)と、参加農業者が肥料費を支払ったことを証明する書類(領収書等)または支払い義務が生じていることを示す書類(請求書等)を提出すること。なお、肥料の種類、数量、購入費が記載されているものに限る。